

第4回川口市行政評価外部評価委員会			
日 時	令和8年2月12日(木) 13:30~14:40	場所	青木会館3階 会議室C
評価委員	石川委員長、佐藤副委員長、高田委員、田中委員、大関委員	傍聴者数	0名
事務局	企画経営課：中村部長、小川次長、長部課長補佐、山縣主査、濱中主査		

(1) 令和7年度外部評価結果に対する事業担当課の対応方針について	
評価事業	福祉手当給付事業
担当課	福祉部長寿支援課・障害福祉課
説明者	若松次長、蛭名次長、清水課長補佐、小柳課長補佐、奈良岡主事、津久井主事
<p>○資料1「令和7年度川口市行政評価外部評価委員会からの評価に対する対応方針について」 長寿支援課長・障害福祉課長から説明</p> <p>&lt;質問・意見&gt;</p> <p>特になし</p>	
評価事業	スポーツ協会事業
担当課	教育総務部スポーツ課
説明者	太田次長、齋藤課長補佐
<p>○資料1「令和7年度川口市行政評価外部評価委員会からの評価に対する対応方針について」 スポーツ課長から説明</p> <p>&lt;質問・意見&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 委員長 <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 来年度予算において、スポーツ協会から増額の要望があったが、人件費の増額のみを計上したとの説明であったが、他にどのような増額要望があったのか。</li> <li>◇ 主には委託料や物品の購入費用についての増額要望である。</li> <li>➤ 今回、その部分の予算を増額しなかったことで、備品の老朽化等による事故等の懸念はないのか。</li> <li>◇ 事故等が無いように、優先順位を付けて計画的に購入している。</li> </ul> </li> <li>・ 委員 <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 令和8年度予算作成にあたっての考え方において、令和9年度以降は事業評価を反映し、適正化を図っていくとあるが、具体的にはどのように適正化を図っていくのか。</li> <li>◇ スポーツ協会の事業実績を検証したうえで事業の評価等を伝え、スポーツ協会からの意見を聴取するなどの意見交換の場を持つことで適正化を図りたい旨、現在、スポーツ協会と協議を行っている。</li> </ul> </li> </ul>	

(2) 令和6年度外部評価事業に対する事業の方向性について	
評価事業	危機管理事業
担当課	危機管理部危機管理課
説明者	鈴木次長、佐藤主幹、佐藤課長補佐
<p>○資料1「令和6年度外部評価事業の方向性について」危機管理課長から説明</p> <p>&lt;質問・意見&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 委員長 <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ LINEの登録は進んでいるのか。 <ul style="list-style-type: none"> <li>◇ LINEの登録者数は頭打ちになっているが、ヤフー防災アプリと連携するための整備費を来年度予算で計上しており、これが実現すれば約18万人の方に直接防災情報が発信できるようになる見込みである。</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>・ 委員 <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 災害の種類にもよるが、電気が繋がらないとか、携帯電話が水没して使えないという時にはこのような連絡手段では情報伝達することが非常に難しいと感じたが、その場合は何か他に手段があるのか。 <ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 現在整備している防災行政無線は、災害時に停電が発生してもバッテリーで起動することとなっている。使用時間に制限があるものの、初動の広報などには十分活用出来ると考えている。</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>・ 委員長 <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 川口市内の防災組織などの体制はどうなっているのか。 <ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 現在229町会・自治体のうち227の町会・自治会で自主防災組織が組織されている。災害発生時には、避難行動要支援者への声かけや避難所の運営等に、ご協力をいただくことになっている。</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>	
評価事業	緑化推進事業
担当課	都市計画部みどり課
説明者	青木次長、林課長補佐、小池課長補佐、長谷川主査
<p>○資料2「令和6年度外部評価事業の方向性について」みどり課長から説明</p> <p>&lt;質問・意見&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 副委員長 <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 補助金の見直しとは具体的にどのようなことをしているのか。 <ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 昨年度利用希望はあったものの事前申請に至らなかった理由を聞きとったところ、市の補助金が安価だったことから、補助金額を増額する方向で考えていたが、市内で補助金を出している道路や水道などを調べたところ、それぞれかかった費用の約8割を補助金として支給しており、あまりにも高い補助率のため、参考にならなかった。また、他の自治体を調べてみると、例えば生垣補助金は1mあたり1万円という川口市の補助金額は、それほど安くないということが分かった。</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>	

- ・ 委員
  - 補助金額の1 m 1万円というのはどのような単価なのか。
    - ◇ 生垣の高さ1 m以上、道路に面する長さ2 m以上の生け垣の設置に対し、延長1 mあたりの補助額が1万円となっている。
- ・ 委員
  - 他の自治体を参考として、現在検討中のものはあるのか。
    - ◇ 1 mあたりではなく、1本当たりの補助金を支給している自治体もあり、川口市においても検討中である。
- ・ 委員長
  - 補助基準が細かくて、使いにくいものになっていないか。例えば、ブロックやコンクリートである程度の高さを作って、その上に木を植える場合、3段や4段ブロックを積むと対象外となってしまうか。川口市の基準は使いやすいものになっているという認識か。
    - ◇ ブロックの基準は60 cm以下であり、3段ブロック相当と要件は緩くしている。
  - 3段ブロックは結構低く感じるもので、どこの家も4段は欲しいと実感していると思われるため、引き続き検討していただきたい。

<b>評価事業</b>	赤山城跡保存整備事業
<b>担当課</b>	教育総務部文化財課
<b>説明者</b>	上野次長、千葉課長補佐、永瀬課長補佐

○資料2「令和6年度外部評価事業の方向性について」文化財課長から説明

<質問・意見>

- ・ 委員
  - 結局のところ、土地の購入は進んでいるのか。
    - ◇ 平成3年に策定した計画では事業計画用地は約12万8500㎡となっているが、現状では概ね25%までしか購入が進んでおらず、このままのペースでいくと100年事業となってしまう。今回の指摘も含め、計画の縮小を検討する必要があると考えている。
- ・ 委員
  - 令和になってからはどのような進捗で進んでいるのか。
    - ◇ 今年度は約500㎡の土地を購入し、来年度も購入する計画で進めている。
- ・ 委員長
  - 100年間続ける事業のように計画自体が保存事業となっているのではないか。問題意識を持っていると思うが、こんなにゆっくりでいいのか。
    - ◇ 平成3年の計画作成時はこんなに時間がかかるとは思っていなかったのではないか。計画では赤山陣屋跡の一带を史跡公園として整備し、その中に売店や大きな博物館を建設する構想があったため、それに向けて土地の購入を始めたところだが、年々土地購入費用の捻出も難しく、当初の計画のままでは早期の完成が難しいため、計画の縮小もやむを得ない状況である。

- ・ 委員
  - イイナパークと赤山城跡は隣接しているのか。
    - ◇ 近い距離にはあるが隣接はしておらず、その間に道路や民地がある。
- ・ 委員
  - イイナパークを絡めて、現実的な計画に変更する必要があるのではないか。
    - ◇ 近隣に歴史公園が出来たので、赤山陣屋跡に公園的な機能の必要性は低いと考えているが、陣屋跡としての屋敷を建設するとか、市内に収蔵庫が分散しているため、大きな収蔵庫を赤山陣屋跡の地内に持つということも検討しているところである。
- ・ 委員長
  - 教育委員会は施設を作り見せることが得意な傾向にあるが、赤山陣屋跡の土地を利用して、市の財政に少しは貢献するとか、知名度において貢献するとか、人々の動きに大きなインパクトを与えたりとか、そういったことも必要ではないか。そのためには教育委員会のみならず、関係部局と連携し、引き続き検討していただき、少しでも前に進むよう希望している。

### (3) 外部評価委員会へのご意見に対する回答及びアンケート結果について

○資料3「令和7年度川口市行政評価外部評価委員会に対するご意見及び回答」及び  
資料4「令和7年度川口市行政評価外部評価委員会アンケート結果」について事務局から説明  
<質問・意見>

- ・ 副委員長
  - やり方はもう改善の余地がないのではないか。資料を作成することがかなり負担になっていると思うが、その負担に見合う成果が出ているかは疑問である。

### (4) その他

○資料5「企業版ふるさと納税について」企画経営課長から説明  
<質問・意見>

- ・ 委員
  - マッチング支援業務委託について、委託先及び委託料について伺いたい。
    - ◇ 令和6年度委託先については、株式会社埼玉りそな銀行である。また、委託料は成果報酬型であり、寄附金額×受託料率10%となる。
- ・ 委員長
  - 税額の控除があるので、寄附件数がもっと増えても良いと思う。何か要因があるのか。
    - ◇ 川口市では、そこまで件数が多いので、一層の活用促進を図るため、調査研究中有る。制度上、本社が所在する市には寄附できず、他市に寄附を行った場合、本社が所在する市の法人市民税が控除され、税収が減る、と捉えられているという要因もあるかと思う。